



森づくりサポーターニュース

令和2年(2020年)9月15日号

びわこ地球市民の森(森づくりセンター)

〒524-0102 守山市水保町2727 TEL 077-585-6333 FAX 077-585-6312

メールアドレス biwako@moridukuri.info URL <http://www.moridukuri.info>

森の散策コースと見どころ紹介(2)

コロナ禍は止まることを知りません。滋賀県もあちこちでクラスターが発生し、感染者数が日々増加しています。

8月に入り、国土交通省から県を通して、都市公園における新型コロナウイルス感染症の対策の徹底について通知がありました。内容は「『新しい生活様式』を踏まえた身近な公園利用の4つのポイント」(『①体調が悪いときは利用を控える。②すいた時間・場所を選び、ゆずりあう。③人と人との距離をあける。④こまめに手洗いをする。』)を挙げたうえで、公園を利用しましょうというものでした。本公園では、ロビーに消毒液を備えており、来園者が使用しています。また、サポーター活動やCSR活動で来ていただく皆さんは、自主的にマスクをされています。

さて9~11月、この時期の森と散策コースに目を向けてみますと、今年のブナ科のどんぐりたちは、総じて豊作のようです。秋の自然学習に備えて、下見と打ち合わせにくる幾つかの小学校の先生達とそんな話をしています。ナラガシワの実はいよいよこれからピノキオの鼻のように長く伸びます。クヌギのとげとげ帽子の丸いどんぐりも小さくてかわいい大きさです。クリのイガは既に大きくなっていますが、これから時間をかけて熟すのでしょうか。どんぐりの仲間は15種ほど植えています。例年、子どもたちには3種類は拾って持って帰ってねと言っています。



ナラガシワ



クヌギ



クリ

他にも秋はいろいろな実がなります。コブシはグロテスクな実ですね。エゴノキはエゴサポニンを含んだ実がたくさん垂れ下がっています。ガマズミは紅い小さな実をいっぱい付けますが、今はまだ葉っぱと同じ緑色です。ネムノキはマメ科の木で、大きなサヤをまとめて付けています。ヤマハンノキとオオバヤシャブシの実の大きさを比べてみましょう。また、旧センターの裏に、今年初めてオニグルミが実を付けました。熟れるのが楽しみです。実りの秋、公園の森に入って、いろんな実を見つけましょう。



コブシ



エゴノキのぶら下がった実



ガマズミの実(まだ紅くない)



ネムノキ



ヤマハンノキ



オオバヤシャブシ



オニグルミ

「びわこ地球市民の森」に生育・生息する外来生物 ～「生きもの調査」結果報告～

びわこ地球市民の森では、平成26年度から外来種、ほ乳類、鳥類、植物、節足動物などの「生きもの調査」を実施し、当調査をいかした自然と共存できる生物多様性に富んだ森づくりを目指しています。

今回は、最近在来種を脅かす外来種の増加が懸念されることから、前回（平成26年度）に実施した調査内容のその後の動向や変化を把握するため、令和元年度に「植物」と「水生生物」を対象とした外来生物調査を実施しましたので、その結果を報告します。

植物調査の結果

①確認された植物群落：13群落（在来種：9群落、外来種：4群落、左表は生育面積の大きい順に列記）

No.	在来植物群落	No.	外来植物群落
1	ヨシ群落	1	セイタカアワダチソウ群落
2	クサヨシ群落	2	オオバナミズキンバイ群落
3	オギ群落	3	ウチワゼニクサ群落
4	ウキヤガラ群落	4	オオフサモ群落
5	ヤナギ低木林	生育面積計 5,482㎡	
6	シロバナサクラタデ群落		
7	クズ群落		
8	マコモ群落		
9	ミゾソバ群落		
生育面積計 16,352㎡			



森の中で生育面積最大のヨシ群落



今回の調査で初めて確認されたオオバナミズキンバイ

②生育面積の占める割合：在来種75%、外来種25%

③里の森ゾーンで前回見られなかった特定外来生物「オオバナミズキンバイ」確認！

水生生物調査の結果

①確認された外来種：11種（前回調査：5種）うち特定外来生物：3種

No.	種名	No.	種名
1	ブルーギル（特定外来生物）	7	カムルチー
2	オオクチバス（特定外来生物）	8	クサガメ
3	ウシガエル（特定外来生物）	9	ミシシippアカミミガメ
4	コイ（飼育型）	10	カワリヌマエビ属
5	バラタナゴ類	11	アメリカザリガニ
6	ツチフキ		



ブルーギル



アメリカザリガニ



ミシシippアカミミガメ

②前回調査から新たに外来種が6種増加（オオクチバス、コイ（飼育型）、バラタナゴ類、ツチフキ、クサガメ、カワリヌマエビ属）

③アメリカザリガニが広範囲に確認され、在来種の捕食に影響大

④幼魚、幼体の確認が多く、森が繁殖の場となっているおそれ

⑤琵琶湖に近い環境のため魚類の外来種が多く、在来種のミナミメダカの減少が目立つ

調査結果を踏まえて

前回（平成26年度調査）から新たな外来種が発生し、さらに種数・個体数も増加しており、今後次の早期対策が喫緊の課題！

○オオバナミズキンバイの完全除去！

・「オオバナミズキンバイ」はわずかな葉や茎からでも爆発的に増殖し繁殖力旺盛なため、在来種を駆逐するおそれがあり、早期に完全除去の対策が必要！

○外来水生生物の増加、侵入が深刻！

・森が繁殖の場となっており、また琵琶湖に近い環境のため、外来種の増加、侵入が目立ち、特にアメリカザリガニ、ブルーギル、ミシシippアカミミガメ等の駆除が必要！

*「特定外来生物」とは・・外来生物法（平成17年施行）により飼育、栽培、保管、運搬、輸入等が規制された外来生物

本報告書は、森づくりセンター展示コーナーに設置していますので、自由にご覧ください。

びわこ地球市民の森で自然体験キャンプ（夏）

豊かな自然を活用し、今年も子どもや家族を対象に自然体験と環境教育を目的とした自主事業に取り組みました。



暗闇の中で「虫ムシハイキング」



森の間伐体験

今回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策にしっかり取り組み（検温等の健康チェック、手洗い・うがいの奨励・密になるテント泊を避ける・お椀と箸を使い分けた流しそうめんなど）、熱中症対策にも力を入れた成果もあり、事故なく無事終わることができました。世間の状況を見ながら、秋・冬も自然体験キャンプが実施できればと考えています。ご興味ご関心のあるサポーターの皆さん、ぜひお手伝いをお願いします。



ビンゴをしながら生き物探し



アウトドアクッキング



カブトムシ見つけた！



キャンプファイヤー



竹の流しそうめん"おいしい!"



竹の水鉄砲で水遊び



円盤で花火大会

森づくりセンターの夜空に上げました!!

残念ながら、新型コロナの影響で、「大勢の人が集まるといけない」ということで、各地の花火大会が中止となっています。

そんな中、少しでも気分を味わいたくて、間伐材を輪切りにした円盤を利用して、夜空の花火を表現してみました。

ひゅー—— ドーン!
ぱらぱら ぱらぱら ぱらぱら……



みんなでもくもくと

お知らせ



第3回森づくりサポーター活動のご案内

秋たけなわの絶好の季節に、今年度3回目のサポーター活動を開催します。
多くの皆さんのお越しをお待ちしています。

開催期日：令和2年10月10日(土)

開催場所：びわこ地球市民の森（つどいのゾーン）

活動内容：植栽地の育樹活動と自然教室など

*新型コロナウイルスや台風等の影響で、活動内容を変更したり中止になる場合がありますのでご了承ください。



編集後記

長引く梅雨の影響で、7月のサポーター活動が中止となりました。

野外でのサポーター活動は、台風や新型コロナウイルスのため、昨年の7月以降中止が続ぎ、森も少し寂しげに見えます。

次回の活動は10月10日です。新型コロナウイルスの動向が気になりますが、久しぶりに皆さんが森に集い、自然の中で体を動かし森に活気が戻ることを期待しています。

森のデータ

森の面積	42.5ha
森の延長	3.2km
森の幅	100 ~ 200m
植樹面積	80,808㎡
植樹期間	H13 ~ H25
植樹活動参加者数	44,994人
植樹本数	160,967本
森への利用者数 (R1)	232,135人
森づくり活動参加者数 (R1)	8,036人
うち育樹活動参加者数 (R1)	3,078人